

発行所 (株)日高新報社

〒644-0011 和歌山県御坊市湯川町財部604

本社 ☎ 0738(24)0077(代)

編集部 FAX 0738(23)2112 E-mail simpo@axel.ocn.ne.jp

営業部 FAX 0738(24)0303 E-mail shimpo-eigyuu@bell.ocn.ne.jp

みなべ支局 ☎ 0739(72)1155 FAX 0739(72)1166

2016年(平成28年)

11月10日 木曜日

第20916号

日刊



学会賞を受賞した森畠医師

御坊市出身

森畠氏に内視鏡学会賞

胃がんの早期発見につながる論文

御坊市塩屋町出身で、内科助教の森畠康策医師(42)の論文が、今

月3日から6日まで神

療センター消化器レ

戸で開かれた第92回日本消化器内視鏡学会総会で学会賞を受賞した。胃がんになりやすい胃の状態を初めてデータで示した論文で、早期発見・治療につながる、期待と注目が集まっている。

論文は、これまでの経験から500以上の症例を基に、胃がんの原因のほとんどとされるヘリコバクターピロリ菌を除菌した後の胃の状態を観察した結果、「地図上発赤」と呼ばれる赤くまだら模様になる人はがんになる確率が高くなることをデータで示した。論文は英語で、全世界向けに発行されている内視鏡の専門誌に、競争率20%前後の狭き門を突破して掲載された。同学会からは「内視鏡学の進歩に寄与する優れた論文」と評価され、本年度学会賞10人の中の一人に選ばれた。

塩屋町北塩屋で開院している森畠医院の森畠康夫院長の長男。塩屋小、河南中、日高高校、和医大を卒業後、同大附属病院消化器内科、東京の国立国際医

科、東京の国立国際医療研究センター消化器内科で勤務している。論文は、これまでの経験から500以上の症例を基に、胃がんの原因のほとんどとされるヘリコバクターピロリ菌を除菌した後の胃の状態を観察した結果、「地図上発赤」と呼ばれる赤くまだら模様になる人はがんになる確率が高くなることをデータで示した。論文は英語で、全世界向けに発行されている内視鏡の専門誌に、競争率20%前後の狭き門を突破して掲載された。同学会からは「内視鏡学の進歩に寄与する優れた論文」と評価され、本年度学会賞10人の中の一人に選ばれた。

すれば胃がんにならないと思われがちですが、そうではありません。早期発見すれば完治が可能な病気ですので、内視鏡での定期的な検査をしてもらいたい。胃がんを根絶できると力を込めている。